ERGON
BIKE ERGONOMICS

Perfect Fit Backpack

バックパック 取扱説明書

P1～P2 : BX1 取扱説明書
P3～P4 : BX2 取扱説明書
P5～P6 : BX3 取扱説明書
P7～P8 : BX4 取扱説明書
P9～P10 : BA3 エヴォ 取扱説明書
P11～P12 : BE1 取扱説明書
P13～P14 : BE2 取扱説明書

BX1

Ergon BX1 バックパック

BX1 バックパックは、身体へのフィット感／軽量化／シンプルな構造をコンセプトにデザインされています。
この取扱説明書には、BX1 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

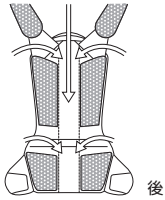
アダプティブ キャリアー システム

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の “ アダプティブ キャリアー システム ” を生み出しました。
このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続された
ショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。

優れた通気性

図1：BX1 の背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、
パッド間を風が通るようデザインされています。

図1：通気性



収納スペース

BX1 の収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。
図2a：メイン コンパートメント内部には、携帯電話／財布などを収納できるメッシュポケット **(A)**、ハイドレーション パックを収納できる
ポケット **(B)**、ミニ ポンプ用ポケット **(C)** が配置されています。
図2b：外部には、防水ジッパー付きサブ コンパートメント **(D)**、ウェアなどの収納スペース **(E)**、携帯電話／カメラ／鍵などを
収納できるウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット **(F)** が配置されています。

図2a：メインコンパートメント内部収納スペース

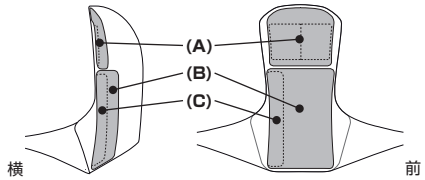
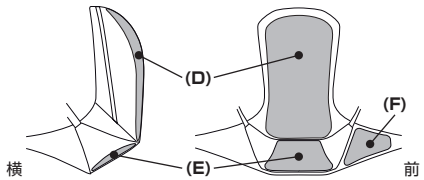


図2b：外部収納スペース

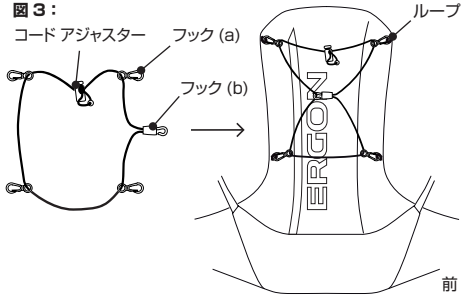


ドローコード

図 3：付属のドローコードを使用することにより、バックパックの
外側にジャケット等のウェア類やヘルメットを固定することが可能です。
また、バックパック内の収納物を安定させるのにも効果的です。

グレーのフック (a) をグレーのループに、ブラックのフック (a) を
ブラックのループに取付けてください。

図 3：



身体に合わせたフィッティング方法

図1：

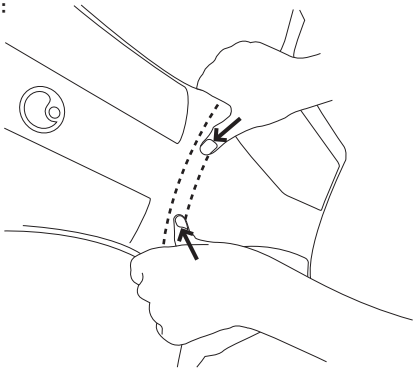
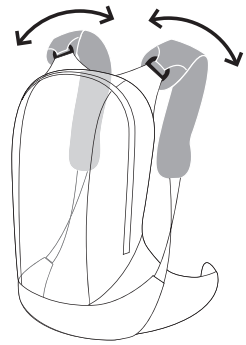


図2：



快適性を高めるアルミ バー

図1：背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されている
アルミ バーを背中のカーブに沿わせて適度に曲げることにより、
さらに快適なフィット感が得られます。

ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図2：ショルダーストラップ上部の2つの D リングにより、
ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

図3：

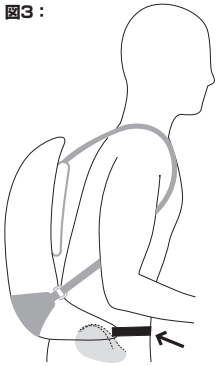
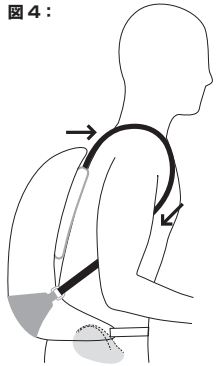


図4：



ウェストベルト／ショルダーストラップ調節方法

図3：ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、
ウェストベルトを腰骨のラインから上下 +/−3cm程度の
範囲で装着します。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上
にあることを確認してください。

図4：ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。
肩を圧迫しない程度に締めてください。

適切なバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長の目安は、
平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

BX2

Ergon BX2 バックパック

BX2 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。
この取扱説明書には、BX2 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

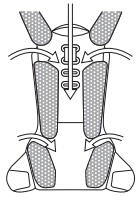
アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の " アダプティブ キャリアー システム " を生み出しました。
このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続された
ショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。
背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S ／ M ／ L ／ XL の4段階に調節することができます。

優れた通気性

図 1 : BX2 の背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、
パッド間を風が通るようデザインされています。

図1 : 通気性



収納スペース

BX2 の収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。
図2a : メイン コンパートメント内部には、携帯電話／財布などを収納できるメッシュポケット **(A)**、ハイドレーション パックを収納できる
ポケット **(B)**、ミニ ポンプ用ポケット **(C)** が配置されています。
図2b : 外部には、2 つのメッシュポケット付サブ コンパートメント **(D)**、携帯電話／カメラ／鍵などを収納できるウェストベルトのジッパー
付きメッシュポケット **(E)**、レインカバー／ジャケットなどの 収納スペース **(F)** が配置されています。
図2c : バッグ外側に、容量を 1.5ℓ増やせるエクスパンド用ジッパー **(G)** が付いています。

図2a : メインコンパートメント内部収納スペース

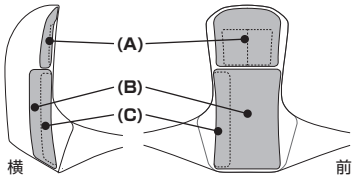


図2b : 外部収納スペース

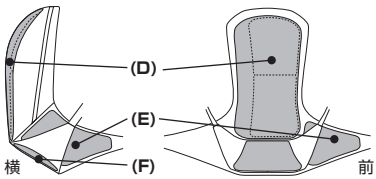
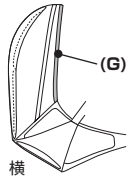


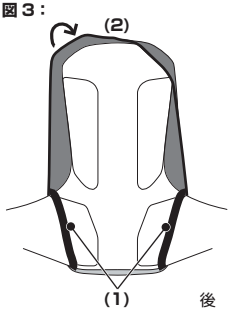
図2c : 拡張機能



レインカバー

図 3 : 左右のウェストベルトをレインカバーのガイドに通してください。**(1)** レインカバーを上に引き上げ、バックパック上部にかぶせます。**(2)**

図 3 :

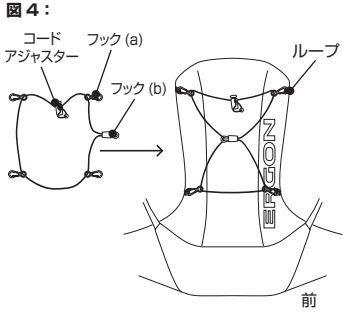


ドローコード

図 4 : 付属のドローコードを使用することにより、バックパックの外側にジャケット等の衣類やヘルメットを固定することが可能です。また、バックパック内の収納物を安定させるのにも効果的です。

グレーのフック (a) をグレーのループに、ブラックのフック (a) をブラックのループに取付けてください。

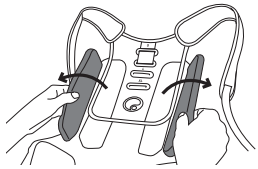
図 4 :



身体に合わせたフィッティング方法

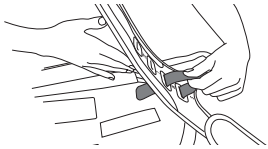
ショルダープレート長の調節

1.



左右のパッドを図のように外側に剥がし、ショルダープレートを上に軽く引き上げ、プレート下にあるストラップを緩めます。

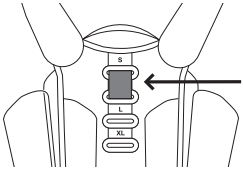
2.



ショルダープレートからストラップを引き抜き、希望の長さの穴に差し込みます。

注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

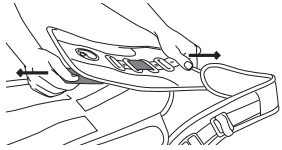
3.



M の長さを選んだ場合は M の文字が隠れます。

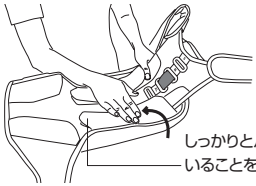
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

4.



ショルダープレートにしっかりとストラップが緩みなく固定されていることを確認してください。

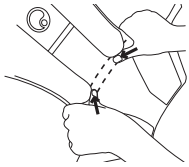
5.



しっかりとパッドが閉じていることを確認してください。

ショルダープレートを軽く曲げてバックパックを身体にフィットさせることが可能です。

6.



背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されているアルミ バーを背中のカーブに沿わせて適度に曲げることにより、さらに快適なフィット感が得られます。

図 1：

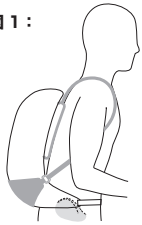
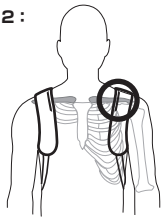


図 2：

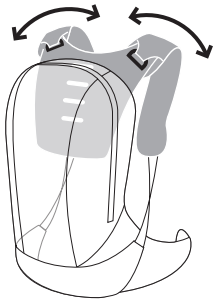


ショルダーストラップの調節

図 1：ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて（+/−3cm）、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2：ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図 3：



ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3：ショルダーストラップ上部の2つの D リングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長の目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

BX3

Ergon BX3 バックパック

BX3 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。
この取扱説明書には、BX3 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

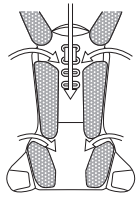
アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の “ アダプティブ キャリアー システム ” を生み出しました。
このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続された
ショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。
背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S ／ M ／ L ／ XL の4段階に調節することができます。

優れた通気性

図 1 : BX3 の背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、
パッド間を風が通るようデザインされています。

図1：通気性



収納スペース

BX3 の収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。
図2a : メイン コンパートメント内部には、携帯電話／財布などを収納できるメッシュポケット **(A)**、ハイドレーション バックを収納できる
ポケット **(B)**、ミニ ポンプ用ポケット **(C)** などが配置されています。
図2b : 外部には、二つのメッシュポケット付サブ コンパートメント **(D)**、ヘルメットホルダー **(E)**、携帯電話／カメラ／鍵などを収納できる
左右ウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット **(F)** が配置されています。
図2c : バッグ外側に、容量を 2ℓ 増やせるエクスパンド用ジッパー **(G)** が付いています。

図2a：メインコンパートメント内部収納スペース

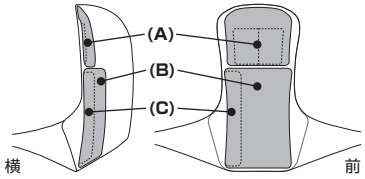


図2b：外部収納スペース

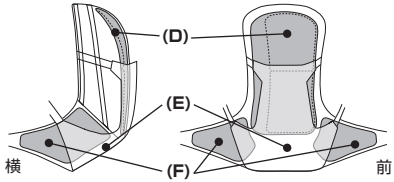
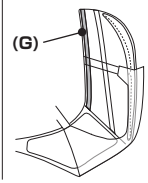


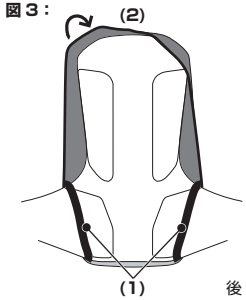
図2c：拡張機能



レインカバー

図 3 : 左右のウェストベルトをレインカバーの
ガイドに通してください。**(1)**
レインカバーを上に引き上げ、バックの
上部にかぶせます。**(2)**

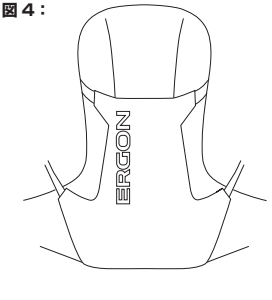
図 3 :



ヘルメット ホルダー

図 4 : 一体型ヘルメット ホルダーはヘルメット
以外にもジャケットなどの衣類を収納することも
できます。またストラップを締めることで
収納物を安定させることもできます。

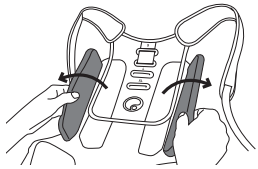
図 4 :



身体に合わせたフィッティング方法

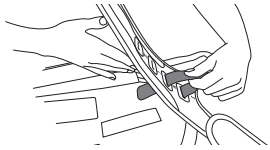
ショルダープレート長の調節

1.



左右のパッドを図のように外側に剥がし、ショルダープレートを上に軽く引き上げ、プレート下にあるストラップを緩めます。

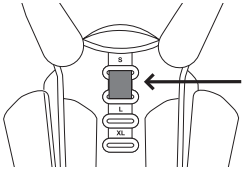
2.



ショルダープレートからストラップを引き抜き、希望の長さの穴に差し込みます。

注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

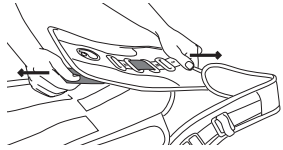
3.



M の長さを選んだ場合は M の文字が隠れます。

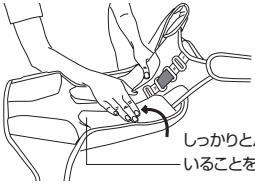
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

4.



ショルダープレートにしっかりとストラップが緩みなく固定されていることを確認してください。

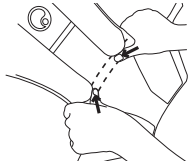
5.



しっかりとパッドが閉じていることを確認してください。

ショルダープレートを軽く曲げてバックパックを身体にフィットさせることが可能です。

6.



背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されているアルミ バーを背中のカーブに沿わせて適度に曲げることにより、さらに快適なフィット感が得られます。

図 1：

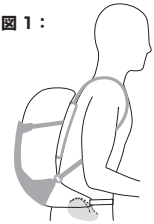
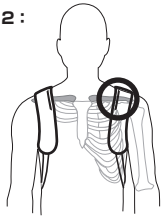


図 2：

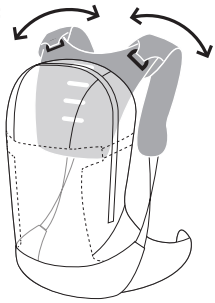


ショルダーストラップの調節

図 1：ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて（+/−3cm）、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2：ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図 3：



ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3：ショルダーストラップ上部の2つのDリングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長の目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

BX4

Ergon BX4 バックパック

BX4 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。
この取扱説明書には、BX4 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

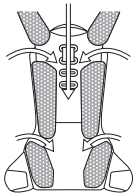
アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の “ アダプティブ キャリアー システム ” を生み出しました。
このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続された
ショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。
背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S ／ M ／ L ／ XL の4段階に調節することができます。

優れた通気性

図 1 : BX4 の背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、
パッド間を風が通るようデザインされています。

図1 : 通気性



収納スペース

BX4 の収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。
図2a : メイン コンパートメント内部には、携帯電話／財布などを収納できるメッシュポケット **(A)**、カメラなどを収納できる
メッシュポケット **(B)** が、背中側にはハイドレーション バック収納用コンパートメント **(C)** が配置されています。
図2b : 外部には、二つのメッシュポケット付サブ コンパートメント **(D)**、ヘルメットホルダー **(E)**、携帯電話／カメラ／鍵などを
収納できる左右ウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット **(F)** が配置されています。
図2c : バッグ外側に、容量を 5ℓ増やせるエクスパンド用ジッパー **(G)** が付いています。

図2a : 内部収納スペース

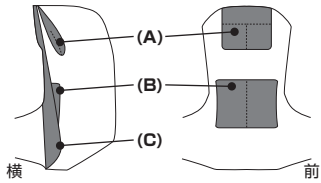


図2b : 外部収納スペース

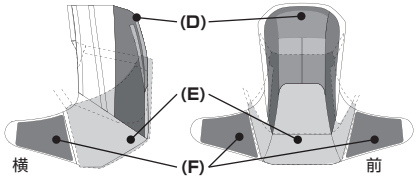
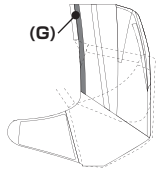


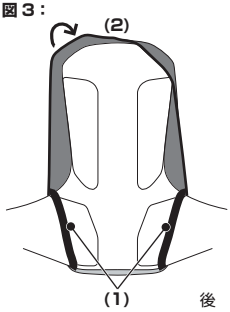
図2c : 拡張機能



レインカバー

図 3 : 左右のウェストベルトをレインカバーのガイド
に通してください。**(1)** レインカバーを上に引き上げ、
バックパック上部にかぶせます。**(2)**

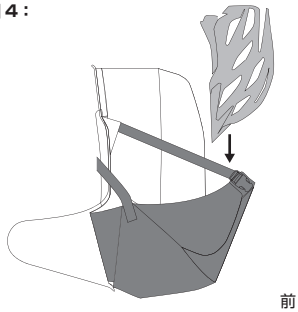
図 3 :



ヘルメット ホルダー

図 4 : 一体型ヘルメット ホルダーはヘルメット
以外にもジャケットなどの衣類を収納することも
できます。またストラップを締めることで
収納物を安定させることもできます。

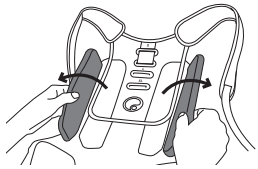
図 4 :



身体に合わせたフィッティング方法

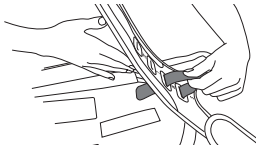
ショルダープレート長の調節

1.



左右のパッドを図のように外側に剥がし、ショルダープレートを上に軽く引き上げ、プレート下にあるストラップを緩めます。

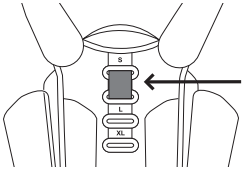
2.



ショルダープレートからストラップを引き抜き、希望の長さの穴に差し込みます。

注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

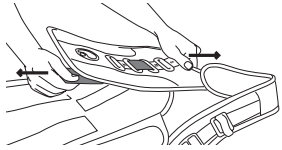
3.



M の長さを選んだ場合は M の文字が隠れます。

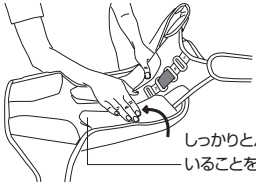
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

4.



ショルダープレートにしっかりとストラップが緩みなく固定されていることを確認してください。

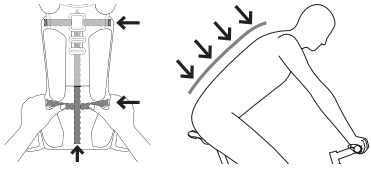
5.



しっかりとパッドが閉じていることを確認してください。

ショルダープレートを軽く曲げてバックパックを身体にフィットさせることが可能です。

6.



背面上部、背面下部、背面中央に内蔵されているアルミ バーを背中に沿わせて曲げることにより、さらに快適なフィット感が得られます。

図 1：

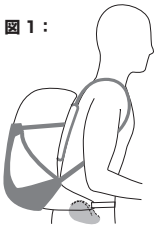
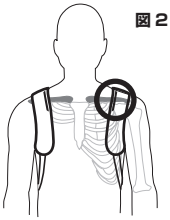


図 2：

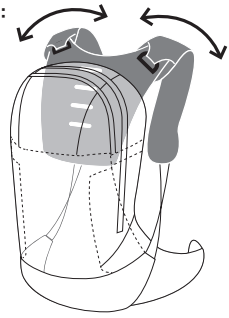


ショルダーストラップの調節

図 1：ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて（+/−3cm）、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2：ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図 3：



ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3：ショルダーストラップ上部の2つの D リングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長の目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

BA3 Evo

Ergon BA3 エヴォ バックパック

BA3 エヴォ バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。
この取扱説明書には、BA3 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

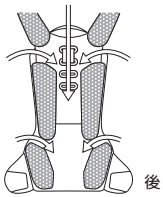
アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の “ アダプティブ キャリアー システム ” を生み出しました。
このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続された
ショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。
背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S ／ M ／ L ／ XL の4段階に調節することができます。

優れた通気性

図 1 : BA3 エヴォの背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、
パッド間を風が通るようデザインされています。

図1 : 通気性



収納スペース

BA3 エヴォの収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。
図2a : メイン コンパートメント内部には、携帯電話／財布などを収納できるメッシュポケット **(A)**、カメラなどを収納できる
メッシュポケット **(B)** が、背中側にはハイドレーション パック収納用コンパートメント **(C)** が配置されています。
図2b : 外部には、二つのメッシュポケット付サブ コンパートメント **(D)**、ヘルメットホルダー **(E)**、携帯電話／カメラ／鍵などを
収納できる左側ウェストベルトのジッパー付きメッシュポケット **(F)** が配置されています。
図2c : バッグ外側に、容量を 2ℓ 増やせるエクスパンド用ジッパー **(G)** が付いています。

図2a : 内部収納スペース

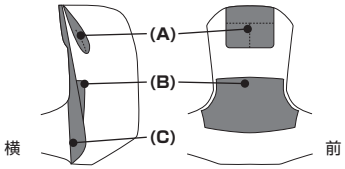


図2b : 外部収納スペース

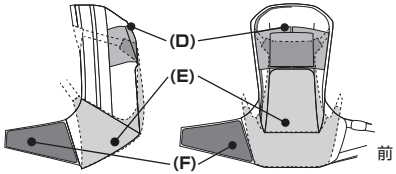
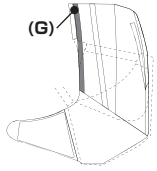


図2c : 拡張機能



レインカバー

図 3 : 左右のウェストベルトをレインカバーの
ガイドに通してください。**(1)** レインカバーを上に
引き上げ、バックパック上部にかぶせます。**(2)**

図 3 :

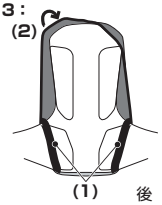
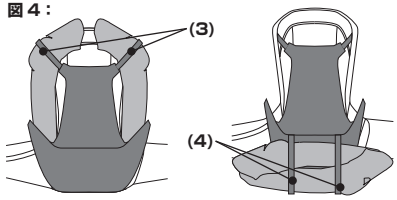


図 4 :



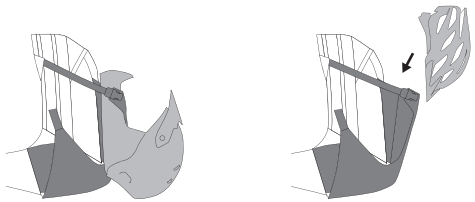
プロテクターの固定

図 4 : バックパック上部のストラップ **(3)**、
またはバックパック下部のストラップ **(4)** を
使用し、プロテクターを固定します。

ヘルメットの固定

図 5 : アジャスタブル ヘルメット ホルダーを
使用して、フルフェイス ヘルメットや自転車用
ヘルメット、ジャケットなどの衣類を固定します。

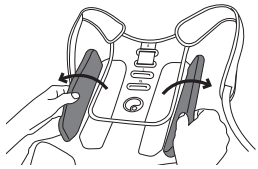
図 5 :



身体に合わせたフィッティング方法

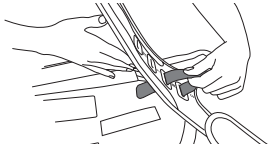
ショルダープレート長の調節

1.



左右のパッドを図のように外側に剥がし、ショルダープレートを上に軽く引き上げ、プレート下にあるストラップを緩めます。

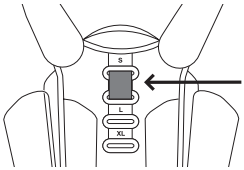
2.



ショルダープレートからストラップを引き抜き、希望の長さの穴に差し込みます。

注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

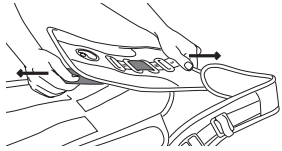
3.



M の長さを選んだ場合は M の文字が隠れます。

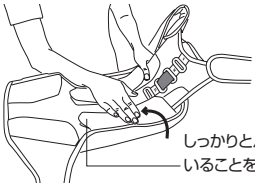
注意：選択した長さのサイズ文字はストラップで隠れます。

4.



ショルダープレートにしっかりとストラップが緩みなく固定されていることを確認してください。

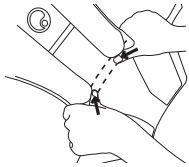
5.



しっかりとパッドが閉じていることを確認してください。

ショルダープレートを軽く曲げてバックパックを身体にフィットさせることが可能です。

6.



背面上部パッドと下部パッドの間に内蔵されているアルミ バーを背中のカーブに沿わせて適度に曲げることにより、さらに快適なフィット感が得られます。

図 1：

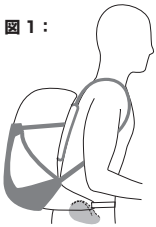
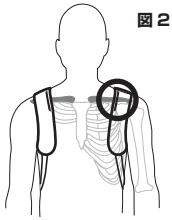


図 2：

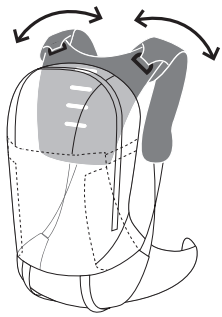


ショルダーストラップの調節

図 1：ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて（+/−3cm）、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2：ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図 3：



ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3：ショルダーストラップ上部の2つの D リングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とバックパック サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長の目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

BE1

Ergon BE1 バックパック

BE1 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。
この取扱説明書には、BE1 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

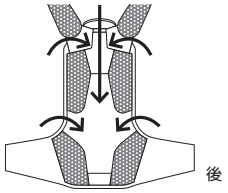
アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の " アダプティブ キャリアー システム " を生み出しました。
このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続された
ショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。
背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S ／ M ／ L ／ XL の4段階に調節することができます。

優れた通気性

図 1：BE1 の背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、
パッド間を風が通るようデザインされています。

図1：通気性



収納スペース

BE1 の収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。
図2a：ヘルメット用キャリングベルト **(A)**、ベースフォーム / バックプロテクター収納スペース **(B)**、
小物収納用メッシュポケット付きサブコンパートメント **(C)**
図2b：メインコンパートメント **(D)**、スペアパーツ収納用サブコンパートメント **(E)**、プロテクター用キャリングベルト **(F)**

図2a：内部収納スペース

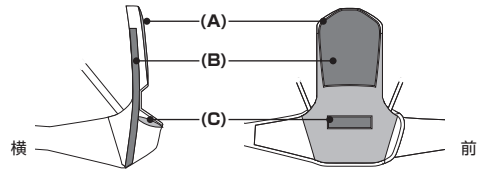
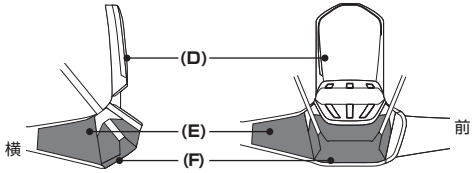


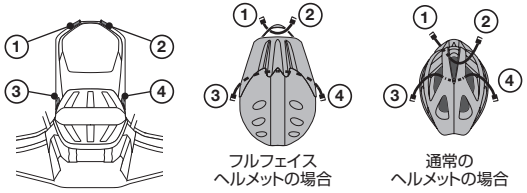
図2b：外部収納スペース



ヘルメットの固定

図 3：アジャスタブル ヘルメット ホルダーを
使用して、自転車用ヘルメットや
フルフェイス ヘルメットなどを固定できます。
2 本のベルトをヘルメットの通気孔または開口部に
通し、図の番号通りにフックに引っ掛けてから、
ベルトの長さを調節します。

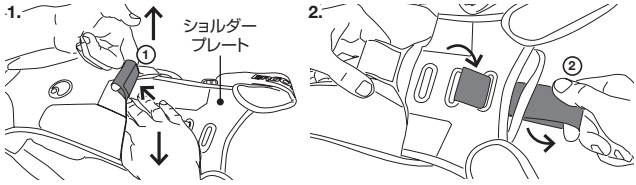
図 3：



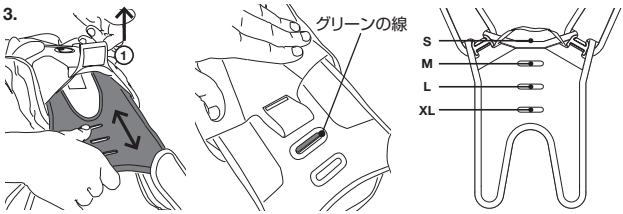
身体に合わせたフィッティング方法

ショルダープレート長の調節

1. ショルダープレートを押さえながらストラップ①を引っ張ってベルクロをはがし、間に手を入れます。
2. ショルダープレートを固定しているキャリングベルト②をすべて引き出し、ショルダープレートの開口部から引き抜きます。



3. ストラップ①を引っ張ってベルクロをはがし、ショルダープレートの位置を調整します。S、M、L、XL から希望するサイズを選択し、「選択したサイズ表記の上側の開口部から、" グリーンの線 " が見えるように」位置を調整してください。(例：S サイズを選択した場合 = ショルダープレートの上端から " グリーンの線 " が見えるように調整します。)



4. キャリングベルト②をショルダープレート裏側から「選択したサイズ表記の上側の開口部」に挿入し、引き出します。
5. ショルダープレートを押さえながらストラップ①を引っ張ってベルクロをはがし、間にキャリングベルト②を挿入します。
背面パッドとストラップ①を押さえてベルクロを固定します。

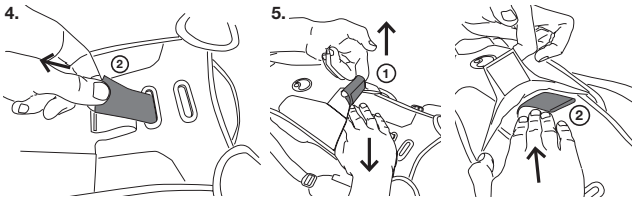


図 1：

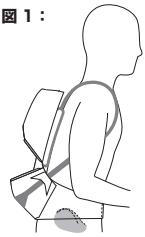
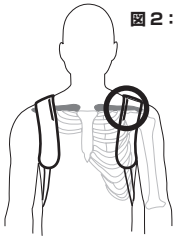


図 2：

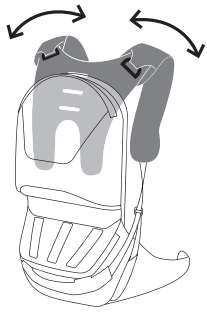


ショルダーストラップの調節

図 1：ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて（+/−3cm）、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図 2：ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図 3：



ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図 3：ショルダーストラップ上部の2つのD リングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

適切なショルダープレート取付位置とショルダーストラップ サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とショルダーストラップ サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長の目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

BE2

Ergon BE2 バックパック

BE2 バックパックは、身体への最適なフィット感をコンセプトにデザインされています。
この取扱説明書には、BE2 が持つ独自の機能と取扱い方法が記されています。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。

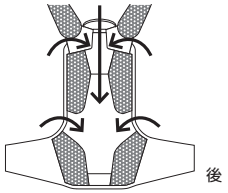
アダプティブ キャリアー システム + 調整可能ショルダープレート

バックパックに対する様々な要求に応えるため、Ergon 開発チームは独自の " アダプティブ キャリアー システム " を生み出しました。
このシステムは、ショルダーストラップとウェストベルトが身体に合った角度調整を自動的に行い、またハンモック状に接続された
ショルダーストラップが、荷重を可能な限りユーザーに近づけ、従来のバックパックに比べて収納物をより安定させることができます。
背中のショルダープレートはユーザーの体格に合わせて S ／ M ／ L ／ XL の4段階に調節することができます。

優れた通気性

図 1：BE2 の背面パッドは、乗車時の背中のムレを解消するため、
パッド間を風が通るようデザインされています。

図1：通気性



収納スペース

BE2 の収納スペースは、アクセスし易く、機能的な配置を重視してデザインされています。
図2a：ヘルメット用キャリングベルト **(A)**、ベースフォーム / バックプロテクター収納スペース **(B)**、
小物収納用メッシュポケット付きサブコンパートメント **(C)**
図2b：メインコンパートメント **(D)**、スペアパーツ収納用サブコンパートメント **(E)**、プロテクター用キャリングベルト **(F)**

図2a：内部収納スペース

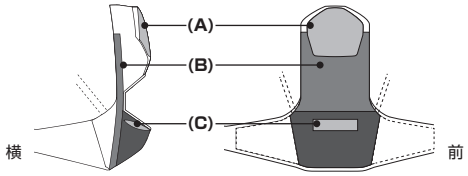
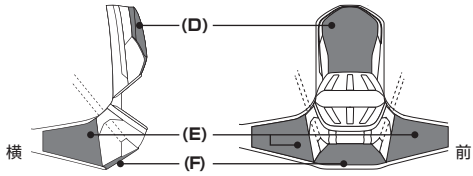


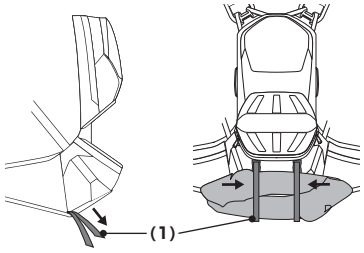
図2b：外部収納スペース



プロテクターの固定

図 3：バックパック下部のストラップ **(1)** を
使用し、プロテクターを固定します。

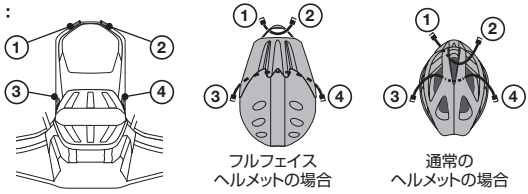
図 3：



ヘルメットの固定

図 4：アジャスタブル ヘルメット ホルダーを
使用して、自転車用ヘルメットや
フルフェイス ヘルメットなどを固定できます。
2 本のベルトをヘルメットの通気孔または開口部に
通し、図の番号通りにフックに引っ掛けてから、
ベルトの長さを調節します。

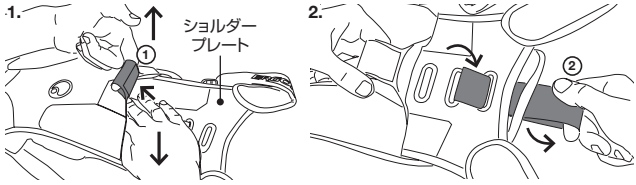
図 4：



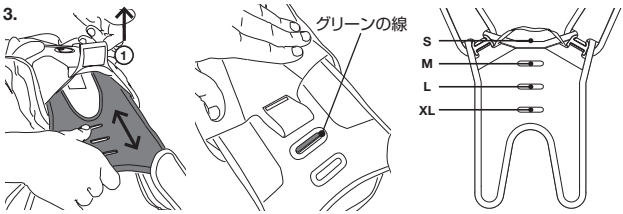
身体に合わせたフィッティング方法

ショルダープレート長の調節

1. ショルダープレートを押さえながらストラップ①を引っ張ってベルクロをはがし、間に手を入れます。
2. ショルダープレートを固定しているキャリングベルト②をすべて引き出し、ショルダープレートの開口部から引き抜きます。



3. ストラップ①を引っ張ってベルクロをはがし、ショルダープレートの位置を調整します。S、M、L、XL から希望するサイズを選択し、「選択したサイズ表記の上側の開口部から、" グリーンの線 " が見えるように」位置を調整してください。(例：S サイズを選択した場合 = ショルダープレートの上端から " グリーンの線 " が見えるように調整します。)



4. キャリングベルト②をショルダープレート裏側から「選択したサイズ表記の上側の開口部」に挿入し、引き出します。
5. ショルダープレートを押さえながらストラップ①を引っ張ってベルクロをはがし、間にキャリングベルト②を挿入します。
背面パッドとストラップ①を押さえてベルクロを固定します。

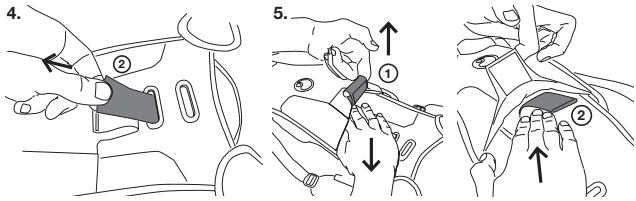


図１：

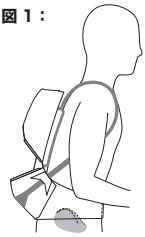
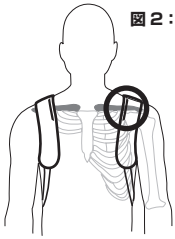


図２：

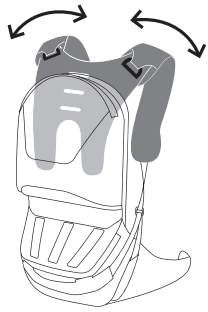


ショルダーストラップの調節

図１：ショルダーストラップを緩めてバックパックを背負い、ウェストベルトを腰骨のラインに沿わせて（+/−3cm）、少しきつめに締めます。ウェストベルトがお腹ではなく腰骨上にあることを確認してください。

図２：ショルダーストラップをたるみが無くなるまで締めます。肩を圧迫しない程度に締めてください。自転車に乗るか、椅子に座り、自転車に乗る姿勢をとってください。ショルダーストラップの緑の調節マークを目安に腰ベルトの適正サイズ、背面の長さを正しく調節できたかを確認します。グリーン調節マークが図の位置にくるように調節してください。

図３：



ショルダーストラップ角度の自動調節システム

図３：ショルダーストラップ上部の2つのDリングにより、ショルダーストラップが適切な角度に自動的に調節されます。

適切なショルダープレート取付位置とショルダーストラップ サイズは、裏表紙のサイズ表をご覧ください。

適切なショルダープレート取付位置とショルダーストラップ サイズは、裏表紙の適応サイズ一覧表を目安にお選びください。サイズ表に記載されている身長の目安は、平均的な身体サイズを基準にしており、体格には個人差があるため適応サイズに合致しない場合があります。

適応サイズ一覧表

BX1

身長の目安	ショルダー ストラップ サイズ ※
160～175 cm	スモール
170～185 cm	ラージ

BX2 / BX3 / BX4 / BA3 Evo / BE1 / BE2

身長の目安	ショルダー ストラップ サイズ ※	ショルダー プレート取付位置
155～160cm	スモール	S
160～165cm		M
165～170cm		M～L
170～175cm		L
170～175cm	ラージ	S
175～180cm		S～M
180～185cm		M
185～190cm		M～L
190～195cm		L～XL

※「スモール」／「ラージ」の違いは、容量の違いではなく、ショルダー ストラップの長さの違いです。
※ ショルダー ストラップ サイズが「スモール」の場合、ショルダー プレート取付位置の「XL」は使用しません。
身長が 170～175cm 以上の方は、「ラージ」をお選びいただくことをお勧めします。

収納と荷重配分のコツ：
安定した荷重配分を保つため、重量物はバックパックの底部に入れておくことをお勧めします。
ドローコードは、ジャケットやヘルメットのような軽量の物にのみ使用してください。
内蔵アルミ バーをライダーの背中から離した位置に保つ事によって、背中との密着による不快感を防ぐことができます。

クリーニングとメンテナンス：
バックパックを常に最良の状態に保つため、使用後は毎回クリーニングし、乾かしてください。クリーニングにはぬるま湯と柔らかいスポンジを使用してください。素材のコーティングを傷つけないために、内側の汚れは柔らかい布で拭きとってください。熱湯、漂白剤、洗剤、溶剤、染み抜き剤は使用しないでください。頑固な汚れには洗剤を含まない石鹸を使用してください。洗剤の使用は、バックパックの防水コーティングを傷つける恐れがあります。バックパックの乾かす場合は、ジッパーを開いた状態で、直射日光を避け、通気の良い涼しい場所に干してください。洗濯機や乾燥機は使用しないでください。

保管方法：
濡れたままや、汚れたままの状態での保管は、生地の損傷／カビの発生／悪臭の原因となるため避けてください。
直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管してください。

注意：
バックパックは高い防水力を持っていますが 100%防水ではありません。(BX2 ／ BX3 にはレインカバーも付属しています。)
携帯電話等の電子機器を収納する際には、個別に防水ケースに収納することをお勧めします。

保 障 期 間：
ご購入日から 2 年間 : 製造上の欠陥による機械部品の不良が対象です。
保障を受けるには、ご購入日の日付の入った領収書が必要です。領収書なしで保障を受ける場合の保障期間は製造年月日から起算させていただきます。お客様の事故などによる外的要因、誤使用、改造、およびこの取扱説明書に従わない本来の用途以外のご使用による故障は保障を受けられません。故障した製品は故障状況を明記して、お買上げの販売店へお持ちください。お送りになる場合の送料はお客様にてご負担をお願いします。

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町27-1　エルゴン 総輸入発売元　株式会社 マルイ